

2012年8月19日開催
第5回ベーシックセミナーでのアンケートへの回答

第5回ベーシックセミナーは総じて評判がよく、アンケート調査でも好評を得ることが出来、これも皆さまの積極的なご参加とご協力のおかげと感謝しております。また、技能講習制度の立ち上げや臨床免疫検討会など初めての試みが多く、行き届かない点多々あったことと思います。この場を借りてお詫び申し上げますと共に、今後もより一層皆様のお役にたてる学会となるよう努力していく所存ですが、これには皆様のご協力も必須であるため、今後ともよろしく願いいたします。

前回のアンケートの中には、ご質問やご意見も多く含まれており、今回、これらの内容につきまして、運営委員会よりお答えをさせて頂こうと思います。

<講演内容について>

○臨床免疫検討会までの時間がかかりすぎる。

会場設置や準備は定刻通り終わりましたが、検討会には、任意のご参加ということで1度セミナーを終了いたしますため、ご挨拶や各口演のご質問などがあり、検討会参加の先生が時間までに揃わず、予定時刻を過ぎる形となってしまいました。検討会参加の先生方には、予定時刻にはお集まりいただくことをお願いすることで対応する所存でございます。

○免疫の基礎について、以前のセミナーの内容も合わせて繰り返し講演して頂きたい。

アップデートが不可欠な分野ですので、学会としても繰り返しの講演が必要ということは痛感しております。年2回のシンポジウムやセミナーでは、時間的に制約があり、これらに特化した講演会などを随時は開催できればこれらの問題は解決できると思いますが、現実的にその余裕がないのが現状となっております。宣伝にもなってしまいますが、講演DVDを繰り返しみて頂き、アップデートの講義は随時行う機会を設けたいと思っております。

<技能講習について>

○講義内容や審査基準が難しい。

技能講習制度は、皆さんにアレルギー診断の方法を啓蒙するための一手段です。皆さんに資格をお取り頂くというのが基本のため、資格基準は厳しくしておりません。アンケートには、講義内容が難しいというご指摘がございましたが、特に免疫学の基礎につきましては、アレルギーを考えるに当たり熟知しておかなければいけない部分ですので、講義に頼るだけでなく、ご自身で勉強して頂く必要が元々あるものと考えております。また、30症例の報告の義務ですが、これはアレルギー診断の経験と診断における考え方を問うものですので、アレルギー・アトピーと診断に至ったものの30症例ではなく、これらの疾患を疑い、どのようなアプローチをしたかが問われるものですので、特に厳しい基準とは考えておりません。

○もう少し講義の内容を滞りなく進めてほしい。

こちらの準備不足もあり申し訳ありませんでした。言い訳になってしまうかもしれませんが、いざ講義となると少し

でも情報を詰め込もうとしてしまう傾向があり、練りきれしていない部分が出てまいります。今後、講師および技能講習制度委員会で講義内容を再度検証し、準備を進めたいと考えております。

○講義の理解が難しく、進行についていけない。

技能講習は基本的に1講義1時間としております。これは、講習の回数と技能講習修了にかかる期間を基準に検討し、また講義内容もこれまでのセミナーの内容を反映している部分もあり、またこの講義内容を理解できるスキルが技能講習修了認定には必要と考え、1時間で充分としております。

しかし、講義にもう少し時間をかけて欲しいというご要望や補講を希望される方も多かつたため、状況により、技能講習の講義時間を質疑応答を含めて2時間とし、新たな講義内容に前回の講義の補講内容を組み入れることで対応することもございます。今後の講義時間や補講につきましては、現行のまま続けることになっておりますが、再度学会および技能講習制度委員会にて検討いたしまして、今後一部変更させて頂く可能性がありますことをここに告知しておきます。

○技能講習制度は、動物アレルギー検査（株）が儲かるシステムになっているのではないかと。

このご意見につきましては、今までも増田が学会運営に対する思いをお話しさせて頂いており、HPにも学会案内や技能講習制度の項に記載させていただいております。そのような考えは本学会にも増田および動物アレルギー検査（株）にも毛頭ございません。

- 1、元々、動物アレルギー検査（株）は、当学会の賛助会員にもなっておりませんし、動物アレルギー検査（株）の社員も参加費を払って学会に参加しております。また、技能講習制度規約内に「確固たる科学的根拠の裏付けを有した小動物分野におけるアレルギー検査を的確に実施」とあり、これは動物アレルギー検査（株）の検査だけを指すものではございませんので、学術的に確固たる裏付けがある検査手法であれば、大学や企業の研究機関、他の検査会社における検査実施でも問題ございません。
- 2、本学会の技能講習やセミナー実施におきまして、増田個人および動物アレルギー検査（株）と学会の間には、講師料やシラバス、DVDなどの作製料、謝金など金銭のやり取りは一切ございません。加えて、DVD販売などの利益も学会以外への流用はございません。このようなことから、動物アレルギー検査（株）の検査は技能講習が要求する一つの検査手法を提供するに過ぎず、そこに学会として実施誘導をしているわけではないことをお分かりいただけるかと存じます。
- 3、結果的に会長としてだけでなく、講師やコメンテーターとして増田が目立つ形になっておりますが、これは増田が研究会設立の発起人の1人であること、今までの医学領域および獣医領域での研究実績によるものであり、なんら彼の所属する動物アレルギー検査（株）とは関係ありません。

<その他>

○最後に、年会費や学会費をもう少し安価にしてほしい。

あわせて、会場へのアクセス不良についてのご意見も頂いております。これも種々経費削減に努力をしておりますが、今の金額と会場費が現状では限界です。本会では、学会誌のデータ化や会員の皆様方への連絡をメ

ールに統一、会場のコスト削減（アクセスの悪い会場で申し訳ありません）など、出来るだけ支出を少なくして多くの講演や講習会を開催できるように尽力しております。また、理事や運営委員、学会誌編集委員の交通費や会議費、事務費は自己負担で行っており、役員の講師料やテキスト作製料、DVD費用なども全て無償という形で皆様方の会費から頂戴しておりません。何卒ご理解頂ければと思います。